

受賞5者の功績たたえ

帯広建管 建設部優秀者表彰伝達



鷲尾副局長が受賞者一人ひとりに感謝状を手渡した

【帯広発】帯広建管は11月30日、十勝合同庁舎で本年度道建設部工事等優秀者表彰の伝達式を執り行った。工事部門の宮坂建設工業(帯広)など4者、委託部門の㈱スコーシャ(帯広)の計5者に対し、鷲尾副局長が感謝状を贈呈した。工事部門の宮坂建設工業(帯広)は、安全・安心な地域

期待を寄せた。表彰は21年度に各建管および建築局から工事・委託業務を受注した企業の鷲尾副局長が受賞者一人ひとりに感謝状を手渡した。表彰は21年度に各建管および建築局から工事・委託業務を受注した企業の鷲尾副局長が受賞者一人ひとりに感謝状を手渡した。

うち、特に優秀な成績を取って宮坂建設工業の宮坂寿文社長とスコーシャの高橋宣之社長が、受賞はわれわれの現場とそこに従事する協力会社の作業員、職員にとって大きな希望の光。引き続き、安全万全を期して工事に取り組んでいきたい」と感謝。高橋社長は「受賞は身に余る光栄。災害の多発や人手不足など多くの課題があるが、皆さんと力を合わせて本道の社会資本整備に努めていく」と決意を新たにされた。

受賞5社の技術を賞賛  
帯広建管が工事等優秀者伝達式



受賞者に鷲尾副局長(左)が賞状を手渡した。会長が「ICTなどの活用で、建設業界は変革の時代を迎えている。皆さまの目まぐるしい努力に感謝したい」と話した。十勝測量設計協会の田中一郎副会長は「発注者のニーズに応える成果品を出したい。ともに発展できれば」と呼び掛けた。受賞者を代表して宮坂建設工業の宮坂寿文社長は「この表彰は社員への希望の光になる。無事故無災害の達成に向け、引き続き努力する」と意気込んだ。スコーシャの高橋宣之社長は「受賞を励みに測量技術のさらなる研さんに努める。北海道の社会資本整備に寄与できれば」と決意した。

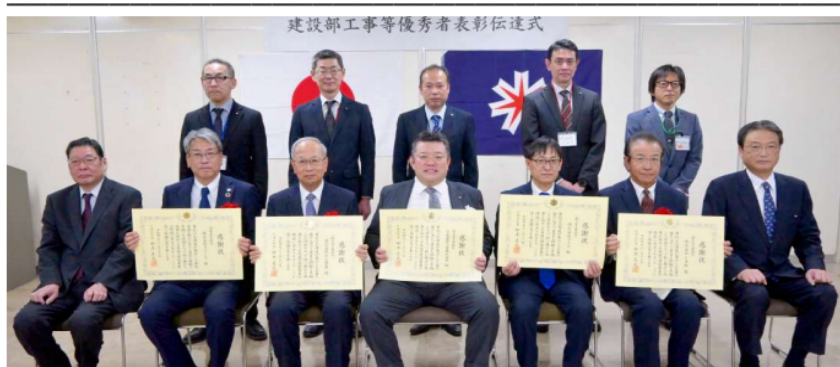
【帯広発】帯広建管は11月30日、十勝合同庁舎で2022年度道建設部工事等優秀者表彰伝達式を開いた。十勝総合局の鷲尾副局長が受賞した5社の代表者に賞状を手渡し、今後のさらなる活躍を期待した。工事部門は、一般土木のA1等級で宮坂建設工業(帯広)、A2等級で北

土開発(芽室)とフクタ(浦幌)、B等級で三島組(幕別)の計4社で、委託部門はスコーシャ帯広(帯広)が選ばれた。鷲尾副局長は「技術研さんの成果。これからも地域の安全安心を守る存在であってほしい」と激励した。来賓のあいさつで、帯広建設業協会の秋原一利

の秋原一利会長と十勝測量設計協会の田中一郎副会長が来賓祝辞。秋原会長は各企業の日々の努力と適切な企業経営に敬意を表した。困難な問題を抱える中、それぞれ優秀な成果を収めた」と称賛。田中副会長は「技術の研鑽に努めるとともに、発注者のニーズに応えた質の高い成果品を収め、建設行政の推進に寄与してほしい」と求めた。最後に、受賞者を代表し

## 道の優秀工事業者 5社に感謝状伝達

今年度の道の「建設部工  
事等優秀者表彰」の伝達式  
が十勝総合振興局で行われ  
た。管内の5社に感謝状が  
贈呈された。写真。



道建設部では毎年度、発  
注した工事や委託業務の実  
施で特に成績が優秀な業者  
を表彰。十勝では工事部門  
で4社、委託部門で1社が  
表彰を受けた。

伝達式は11月30日に行わ

れ、鷲尾亨副局長が「受賞  
を契機にさらなる研さんを  
積み、地域の安心安全な地  
域づくり、発展に尽力して  
ほしい」とあいさつ。帯広  
建設業協会の萩原一利会  
長、十勝測量設計協会の田  
中一郎副会長が来賓として  
祝辞を述べた。

表彰者を代表し、宮坂建  
設工業の宮坂寿文社長が  
「この表彰は現場や協力の  
社、作業員の大きな希望の  
光。年末の工事に向け万全  
を期したい」、ズコーシャ  
の高橋宣之社長は「測量は  
すべてにおける基礎。これ  
を励みに研さんし、社会資  
本整備に貢献していきたい  
」と語った。(完戸雅美)

被表彰者は次の通り。

▽工事部門 宮坂建設工  
業、北土開発、フクタ、三島  
組

▽委託部門 ズコーシャ